

越前市「食と農の創造ビジョン」基本計画パブリックコメント実施結果報告

案件名	越前市「食と農の創造ビジョン」基本計画（案）について							
実施日	平成21年7月15日（水）～平成21年8月5日（水）							
趣旨	本市農業の活性化を図るため、10年後のあるべき姿を示す「食と農の創造ビジョン」の基本構想を3月に策定。本計画は、基本構想に掲げた3項目の「目指す食と農のすがた」を実現する施策の体系を示すもので、9月をめどに策定する。							
意見提出者数 （件数）	3人（3件）							
		40代	50代	60代	70代	80代	未記入	合計
	男性			1				1
	女性		1	1				2
	未記入							
	合計		1	2				3
意見に対する考え方	以下のとおり							

【3つの私たちが目指す食と農の「すがた」を実現するために必要と思われる取組みについて】

意見概要	該当する箇所	考え方・対応
<p>「地産地消の推進」は重点事項であると考えます。理由は最近、「価格」を意思決定の基準としている人が多くなったと思うからです。</p> <p>消費や生産のみならず、地域の活性化の面からも、地産地消を推進することで、各立場の連携（食・農・地域の共通理解が成り立つこと）が図れると思います。</p> <p>市は、安い食品（県外で大量一括生産）の購入から、地元直売所などで安全な食品を適正な価格で買ってもらうような支援を進めていくべきです。</p> <p>生産者が子ども達に手伝いをさせて野菜を作って喜ぶ姿は、昔のよき社会がよみがえったようで嬉しくなります。</p>	第1章	<p>本計画の中では、「和」「旬」「地」を実感する食生活実践の啓発や食と農を結ぶ拠りどころの整備など、4項目を地産地消の推進のための具体的な施策として掲げており、ご意見の主旨を踏まえた内容となっています。</p>
<p>現在、越前市で何が作られているのかよく知りませんが、市内に大きい市場ができればいいと思います。市場で自分が作ったものを売る、作りたての美味しい物を買う、食べる、このようなことから、いろんな発想が出ると思います。</p> <p>人と人が結ばれ越前市が賑やかになれば、農業をする人も増えると思います。</p>	第1章	<p>本計画の中では、生産者と消費者の交流の場として直売所を位置付けており、そのネットワーク化や一元的な情報発信事業への支援を掲げています。</p> <p>ご意見のとおり、様々な活動からの農業の活性化を目指しています。</p>
<p>食用菊や今立産コシヒカリ米を粉にした米粉と地元の食材を使った創作料理に力を入れています。</p> <p>10軒近くあった生産者の方がやめられてしまったことは本当に残念です。市で食用菊の生産をしていただけないでしょうか。</p>	第2章	<p>食用菊の生産につきましては、去年は1グループと2軒の農家の方が取組まれています。これまでの経過から課題も多いと認識しており、市で再び取り組むことは困難であると考えます。</p>